１２支族と失われた１０支族

アブラハムの息子イサクには、エサウとヤコブという双子の息子が生まれ、ヤコブには１２人の息子が生まれた。このヤコブが後に「イスラエル」と改名し、その１２人の息子たちは「イスラエル１２支族」の基礎となったのである。

（中略）

「イスラエル１２支族」

◆**ルベン族**……優れた威厳と優れた力の持ち主。水のような奔放性。少数派。

◆**シメオン族**……暴虐性。国中に散らされる。

◆**ユダ族**……獅子のように獲物によって成長する。王権と指導力。繁栄。自己防衛。

◆**ダン族**……己の民を裁く。マムシのような狡猾さ。

◆**ナフタリ族**……牝鹿のような美人系。善良さ。優雅さ。恵みに満ち足りる。

◆**ガド族**……防衛的。勇敢さ。正義感。最良の地を見つける。

◆**アシェル族**……王の食卓に美味を供える。穏やかさ。

◆**イッサカル族**……たくましいロバのよう。労働。苦役を強いられる。

◆**ゼブルン族**……海辺に住む。そこは舟の出入りする港となり、その境はシドンに及ぶ。

◆**ベニヤミン族**……オオカミのように好戦的。主に愛される者。

◆**マナセ族＆**……大自然の祝福。膨大な恩恵。生産の祝福。地の果て果てまで、
　エフライム族　　国々の民をことごとく突き倒していく進出力。

（「ヘブライの館２」より）

この中、イスラエル王国の分裂そして滅亡によって、
ユダ族とベニヤミン族の２支族以外の１０支族は分散し、消えてしまった。